

学習の展開（学習指導案）

学校番号：57	学校名：岐阜県立斐太高等学校	指導者名：松田 果歩	5時間目／16時間		
クラス：2年女子（28名）	場所：体育館	科目：体育	領域名：球技（ゴール型）ハンドボール		
準備する物：○生徒：体操服、体育館シューズ、生徒用タブレット ○教員：教員用タブレット、遅延再生ソフト、iPad、HDMIケーブル、HDMI・Type-Cアダプタ、テレビ、ホワイトボード					
本時の指導（学習）目標	・シュートでは、正確なシュートフォームを意識して、ボールをねらった場所に打つことができる。【技能】 ・チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。【思考・判断・表現】				
本時の手立て	・遅延再生カメラ等のICTを活用してシュートのフォームを撮影し、映像を用いた分析し仲間に伝える事で思考力・判断力・表現力等を向上させ、より主体的な活動を行う。				
クラス観	・一生懸命授業に取り組むことができる生徒が多い。 ・運動が苦手な生徒が多いが、意欲的である。				
	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	評価規準（評価方法）
導入 5分	○集合・準備運動 ○挨拶・欠席確認 ○前時の復習確認 ○本時の説明	●全員揃ってランニングをする ●体育係の指示で、体操・柔軟・補強運動を行う ●挨拶・欠席確認をする ●前時の復習をする ●本時の目標を確認する	○時間を守らせる ○けがの防止や事故の防止のため、丁寧に行わせる ○規律を守らせる ○学習につながりをもたせるため、ポイントを思い出させる ○本時の授業で何を目標とするのか、生徒に理解させる ①遅延再生カメラの映像を見て仲間の課題や個人の課題を発見させる ②動画を見る時のポイントを意識させる ・ボールの位置は？ （肩が上がっているか） ・利き手と反対の手の位置は？ （前方に出しているか） ・片脚でジャンプできているか？	一斉	
展開 35分	【本時の目標】仲間や自己のシュートフォームを分析して、良い点や修正点を指摘しよう。				
	〈発問〉 仲間や自分のシュートフォームの良い点や修正点を分析し仲間に伝えよう。 （見るポイント） ・ボールの位置（肩が上がっているか） ・利き手と反対の手の位置（前方に出しているか） ・片脚でジャンプできているか				
	○パス ○シュート ICT活用 ○ワンマン（単発速攻） ICT活用	●2人1組でパスをし、肩をならす（5分） ●遅延再生カメラ映像（ICT）を視聴しながらシュートする（8分） →撮影後10秒で自分のシュート映像が再生される ●遅延再生カメラ映像をペアと確認しながらシュートする（7分） ●単発の速攻（15分） →全面を使用した速攻（ICT） パスキャッチするか、ドリブルをつくかを選択し、シュートする ☆遅延再生カメラの映像で見つけた課題を意識してシュート体勢に入る	○パスで意識するポイントをアドバイスしながら巡回 ○シュートのポイントをアドバイスしながら巡回する ○課題を意識した活動になるよう巡回しながら声をかける ○仲間の良い点や課題を一緒に発見できるように声をかける ○シュート練習時からの変化を実感できるように声をかける	ペア グループ	【思・判・表】行動観察 十分満足できる（A） 見るポイントを理解し映像を分析し、良い点や修正点を仲間に積極的に伝えている。 おおむね満足できる（B） 映像を分析し、良い点や修正点を仲間に伝えている。 努力を要する（C） 良い点や修正点を仲間に伝えていない。
まとめ 5分	○本時の振り返り ○整列・挨拶	●本時の活動を振り返り、良いプレーや良い発言をした生徒やチームを紹介する ●次時の課題を確認する ●整列し、姿勢正しく挨拶する	○良いプレーや良い発言をした生徒に対し拍手するよう声をかける ○次時の課題を理解させる ○素早く整列させる ○まとめを話し、解散まで指示をする	一斉	